

■ 岩手県宮古市立津軽石小学校で出前講座

理科の授業で「大地のつくりと変化」と題して津軽石の地質について解説

平成26年10月24日、建設会社と協力して岩手県宮古市の津軽石小学校で出前講座を行いました。

小学六年生理科の授業で、「大地のつくりと変化～地層をさがしてみよう～」と題して、ボーリング試料や津軽石の地層などについて解説を行いました。

- I. 建設中の公営住宅のボーリング試料を実際に手で触れて、土質毎の感触の違いを感じてもらい、建設会社から公営住宅の基礎杭の長さが決まった理由などを説明しました。



- II. 津軽石地区の地質は白亜紀の花崗岩が隆起し、その谷部に海水面変動により砂が堆積して形成されたことを解説しました。また、津軽石周辺の山は土砂流出をしやすい真砂土質が大半であり、大雨で警報が出たらすぐに避難が必要であることを説明しました。

授業では、白亜紀の地層が身近にある事や氷河期に海の水が増減している事に驚きの声があがりました。

また、後日、先生や生徒から「普段暮らしているまちの地層について学べてよかった」「土の性質や地下に何があるのか等知る事が出来てよかった」と感想を頂きました。